



2025年度取手市予算要望書提出 (6大重点要望と243項目)

駅前一極集中改め市民福祉向上と生活基盤整備に

9月議会閉会後の25日、日本共産党加増みつ子・遠山ちえ子・本田かずなり議員は、中村修取手市長に対し、来年度予算編成にあたっての要望書を提出しました。市民アンケートなど、寄せられた要望を、子育て教育、いのちと健康、産業政策、大型開発見直しなど6大重点要望と、給食費・子どもの医療費無料化、災害対策や、安全な通学・生活道路、地域公共交通の拡充、続けられる農業・商業など243項目になっています。

市は、伊藤副市長、政策推進部長、財政部長が対応しました。



6大重点要望の内容



2023年度取手市一般会計決算(471億円)

中村修市政初の決算議会9月議会は3日～24日まで開催。令和5年度一般会計はじめ国民健康保険会計や取手駅西口開発等特別会計決算、令和6年度一般会計補正予算などの審議・議決が行われました。日本共産党は2大開発優先で市民福祉や生活基盤整備後回しの一般会計決算、巨額基金をため込む国保会計、区画整理と再開発一体整備で事業費拡大の取手駅西口開発等特別会計に反対しました。尚、佐野太一議員は日本共産党を離党し、今議会から無党派に移動、決算・予算などすべての市長提出議案に賛成しました。

国保会計基金 40億円

令和4年引き下げ後も大幅黒字

前市政のもとで3割の国保税引き上げが行われて以来国保会計は黒字化、特に10年前からは毎年10億円前後の黒字に拡大、約5億円の基金積み立てが常態化してきました。

日本共産党は、市民と力を合わせ「基金還元で国保税引き下げよ」と、繰り返し求めてきました。

それにより超党派の一致につながり、令和4年総額3億5千万円(1世帯平均2万5000円)の引き下げを実現しました。

取り過ぎた国保税返還 高齢者医療の負担増対策に

それでも値下げ前と同水準の40億円(令和5年度決算一世帯26万3000円)の国保基金を保有しています。この基金の原資には後期高齢医療に移行した人の納めた税も多く含まれます。「取り過ぎた税は納税者に返還」が税制の常道なのに、市は返還方策の検討すらしていません。年齢で医療を分断・差別する後期高齢医療制度の問題があらわれています。政府は、既に後期高齢者医療の2倍化を実施し、更に2割～3割への負担増を狙っています。国保税の引き下げと合わせ後期高齢者のせめて窓口負担増への支援策についての検討を行うことを求めます。

9月議会 決算・予算・意見書等党派・議員の態度 ○は賛成 ×は反対

	共産党3	創和会10	み・維・国4	公明党4	無党派3
	加増 遠山 本田	金澤・赤羽 佐藤・岩澤 小堤・鈴木 海東・杉山 岡口・長塚	関川 入江 山野井 石井	染谷 落合 久保田 古谷	細谷 根岸 佐野
令和5年度一般会計決算	×	○	○	○	○
令和5年度国民健康保険会計決算	×	○	○	○	○
令和5年度取手駅西口特別会計決算	×	○	○	○	○
令和6年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○
救急搬送時の選定療養費徴収撤回を	○	×	×	×	○
新型コロナウイルス感染症に対する支援と情報開示を求める	○	○	○	○	○ ×細谷

み・維・国＝みらい・維新・国民の会の略 無党派は党派に所属せず 表の下2件は、共産党提案意見書

全小中学校体育館にエアコン

実現へ

整備工事は
来年度開始予定



気候変動危機のもと、地震・豪雨と酷暑による被害が全国で多発しています。

日本共産党は、子どもたちが安全に学べる学校・体育館、避難所ともなる学校体育館にエアコン設置を繰り返し求めてきました。

9月市議会では、取手市全小中学校体育館にエアコン設置の実施設計委託料4,050万円(小・中学校合わせ20校分)の補正予算が議決されました。

運営事業者募集中止を求める

STOP!

取手駅前「賃貸テナント活用型保育園」見直しを

市は、「今後保育需要が増え、駅前保育所への要望もある」と、駅前に賃貸テナント型の保育所設置へ、民間の運営事業者を募集。応募を受けたのち適切な事業者を選択するとしています。

駅前保育所は通勤する保護者にとって便利である反面、園庭や災害避難対応、散歩等建物内外の環境など、子どもたちにとって健やかで安心な保育環境とはいえません。

子ども真ん中社会が標榜される中、9月25日、日本共産党は、子どもの育ち第一の保育を求め、本募集の中止を要請しました。



駅前テナント活用型保育園募集中の取手駅前 現在区画整理事業は「A街区再開発」予定地の基盤整備工事中 10月1日撮影

裏金・統一協会癒着、改憲・軍拡の自民減らして日本共産党の躍進を

「裏金事件と統一協会との癒着で国民の信頼を失った」と退陣した岸田首相に代わり石破茂氏が首相になりました。自民総裁選で9人の候補全員が、裏金事件も、統一協会との癒着についての再調査も行うことを拒否しました。総裁選中に、安倍首相ら自民党幹部と統一協会幹部が自民党本部で会談していたなど、組織ぐるみの癒着という疑惑の新事実が明らかになりました。国会での議論を避けて疑惑隠して逃げ切りを図ることは許されません。日本共産党の躍進で、自民裏金問題、統一協会癒着の徹底解明に全力を尽くします。

日本共産党は全力を尽くします

- 腐敗政治を一掃し、政治に信頼を取り戻す
- 賃上げと一体に労働時間の短縮
- 高齢者の人権と尊厳守る年金・介護・医療
- 学費値上げ許さず「学費ゼロ」へ値下げに踏み出す
- コメ不足・価格高騰から、国民の命の源守る
- 「戦争国家」づくり止め、外交力で平和なアジアと日本
- 気候危機打開へ

はたらく人の自由な時間を拡大するために

「毎日遅くまで残業で、やりたいことができない」
 「仕事と育児、家事に追われ睡眠時間を削っている。自分の自由な時間が欲しい」
 「人間らしく働きたい」
 「もっと自由に生きたい」
 「自由な時間が欲しい」
 という切実な声広がっています。

人間らしい生活ができる政治へ



日本共産党政策提案【9月20日】

1. 自由時間拡大推進法案を提唱
1日7時間週35時間に短縮など労働基準法をはじめ、賃上げとともに労働時間を短縮するために必要な関連法の改正案の総称です。
2. 労働時間の短縮で、ジェンダー平等を進めます。
3. 政治の責任で賃上げをすすめ、労働時間短縮と同時に進むようにします。
4. 「1日8時間」の原則さえ骨抜き・形骸化を狙う労働基準法大改悪に反対します。

軍事費拡大よりも、能登半島被災地救援を



救援募金を訴える党市議団

遠山ちえ子 加増みつ子

本田かずなり

佐野太一議員 日本共産党離党にあたってご報告とお詫び

8月29日佐野太一氏より日本共産党を離党したい旨の表明がありました。「取手駅西口開発や公営ギャンブルで共産党の政策への同調は難しい」などが主な理由です。日本共産党は関係会議を開催し、佐野氏の離党を了承。9月議会開会日前日2日党議員団は、佐野議員の会派離雑届を提出しました。市議会議員選挙で4議席を確保させて頂きながら、共産党一議席を失う残念な結果となりました。この間取手市委員会は、市議選での公約実現に向け、主要政策での一致を図る為の努力を続けてきましたが、結果として解決に至らず佐野氏の離党となりました。ご支援いただいた皆様に深くおわび申し上げます。

今後3人の共産党市議団は、他党派議員との一致する課題での協力を大事に、皆さまの期待に応えられるよう一層奮闘してまいります。

引き続き皆様のご支援ご協力をお寄せ頂きます様お願い申し上げます。

2024年9月3日 日本共産党取手市委員会